

／頑張っています／

# 社会福祉法人の地域貢献

大阪しあわせネットワークでは、さまざまな地域貢献に力を入れています。  
今回は(福)大阪婦人ホーム 救護施設ホーリーホーム(大阪市/成人施設部会)の取り組みを紹介します。

## 施設が小学生の朝の居場所に

「馳走様でした！行ってきまーす」  
おにぎりやスープを食べ終わり、元気に登校する子どもたち。毎週火曜日の朝、施設の地域交流センターで見る恒例の姿となりました。ホーリーホームは、法人の保育部門職員とともに昨年11月から近隣の小学生を対象に登校前に朝食を提供する「はやねはやおきクラブ」を実施。当初は10名ほどの参加者が、半年で30名以上に増えました。

きっかけは地域の会議に出席していた小学校の先生からの相談でした。職員たなかの田中さんは「早朝に校門前で学校が開くの待っている子どもたちがいる。子どもたちが朝に集まることのできる場所がないかと相談を受けました。地域のために施設長や理事長とも相談し、子どもたちが安心して朝食を食べることが出来る場所になればと考えました」とふりかえります。

①大阪婦人ホーム  
1907年(明治40年)に女性の自立を支援する目的で設立され、創設から110年を迎える施設です。



職員の見送りで登校



配布したチラシ

用紙に食べられない物を記入する、参加者用出席カードを作るなど工夫をしながら取り組んでいます。

登校後、職員同士でミーティングを実施し、子どもたちのようすを共有することも職員の励みになっています。

「体制や準備など大変なこともありましたが、職員が主体的に取り組んだことが良かった。今後、放課後にも何かできないかと新しいアイディアも出てきています」と福越直子あきこ施設長は話します。

## 広がっていく地域貢献

小学校が実施した保護者アンケートの声から、春休み期間中のクラブ実施や、生協や保護者からの食材寄贈、保護者ボランティアの参加など協働の取り組みへと広がっています。

ホーリーホームは、今後も社会福祉法人や施設の専門性を活かし、地域住民や小学校、さまざまな団体とも協力し、地域に貢献する活動を継続していきます。

## 老人施設部会

「優秀実践アワード(きらっと光る実践)」受賞

## 『地域交流サロンぽっぽ』の取り組み

老人施設部会では、会員施設を対象に、地域における公益的な取り組みに関して優れた実践を表彰する制度を令和5年度に創設。今回、優秀賞の(福)こぼと会「地域交流サロンぽっぽ」の実践を紹介します。

### 地域に常設型の居場所をつくる

ぽっぽは、令和元年6月に、特別養護老人ホーム隣のこの里に隣接する住宅を活用し、開設しました。

三階建の一階にはカウンターのある喫茶スペースを設け、二階と三階には会議室を設置。主な活動としては、ふれあい喫茶を火・水曜日にオープンし、地域の高齢者を中心に、1日あたり約40人が利用しています。

また、食事に困っている高齢者などヘルパチの提供や月1回子ども食堂を開催。さらに、地域住民がフラワー教室や手編みサークルの活動場所として使用し、障がい者施設によるパンの販売が行われるなど、地域の様々な方が交流する拠点になっています。

### 活動の担い手はボランティア

この活動を支えているのは、地域の



訪れる人を優しい笑顔でおもてなしする、ボランティアスタッフのみなさん

ボランティアスタッフのみなさん。喫茶では、準備から調理、配膳、片付けまでフル回転で活躍。職員とともに、月1回の運営会議にも参加し、活動内容の企画・計画づくりに携わっています。

ボランティア活動の励みは利用者からの声。子ども食堂を利用している子どものお母さんから仕事帰りにお礼の言葉を述べられたことも。住民同士の温かい交流が生まれています。

### 地域の拠り所になりますように

担当職員やましたの山下和子かずこさんは、「地域の福祉課題の解決につながる拠点をめざし、これからも地域のみなさんの声を大切に楽しい活動を展開していきたい」と抱負を語りました。